

ラサール・グローバルREITファンド (奇数月分配型)

データは2026年8月31日現在

ファンドの特色



世界各国の上場不動産投信(REIT)を中心に投資を行ない、比較的高い分配金利回りを安定的に獲得しつつ、中長期的な信託財産の成長をめざします。

不動産投信のメリット

- ①比較的高い安定した分配金利回りへの期待
- ②インフレに強いとされている
- ③少額から分散投資が可能
- ④相対的に流動性・換金性が高い
- ⑤専門家による運用

不動産投信のしくみ



不動産投信は、投資家から集めた資金などで不動産を保有し、そこから生じる賃料収入、売却益などが投資家に分配される商品です。一般的に、上場不動産投信は株式と同じように売買することが可能です。

不動産投信とは、不特定多数の投資家から資金を調達し、不動産の所有、管理、運営を行なうもので、REIT(=Real Estate Investment Trust)と呼ばれる場合があります。多くの不動産投信は、一定の適格要件を満たすことにより、法人税の課税が事実上免除されています。不動産投信に投資する投資家は、不動産などに投資して得られる収益の大半を受け取ることができます。不動産投信には上場しているものと、非上場のものがありますが、当ファンドは原則として各国の金融商品取引所に上場している不動産投信に投資します。

※世界各国の不動産投信の比較的高い分配金利回りを直接享受することを目的とするため、原則として為替ヘッジは行ないません。
※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用ができない場合があります。



年6回、奇数月に決算を行ないます。

- ・奇数月の各5日(休業日の場合は翌営業日)を決算日とします。

※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。



ラサール インベストメント マネージメント セキュリティーズ エルエルシーが運用を担当します。

ラサール インベストメント マネージメント セキュリティーズ エルエルシーについて

- ・同社は、世界有数の総合不動産サービス会社の1つである「ジョーンズ ラング ラサール グループ」の上場不動産証券投資部門です。



投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様にご理解を高めいただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

データは2026年8月31日現在

ラサール・グローバルREITファンド(奇数月分配型)

設 定 日 : 2023年8月9日 償 還 日 : 無期限 決 算 日 : 原則、毎年奇数月の各5日(休業日の場合は翌営業日)
 収 益 分 配 : 決算日毎 基 準 価 額 : 13,858円 純資産総額 : 2.21億円

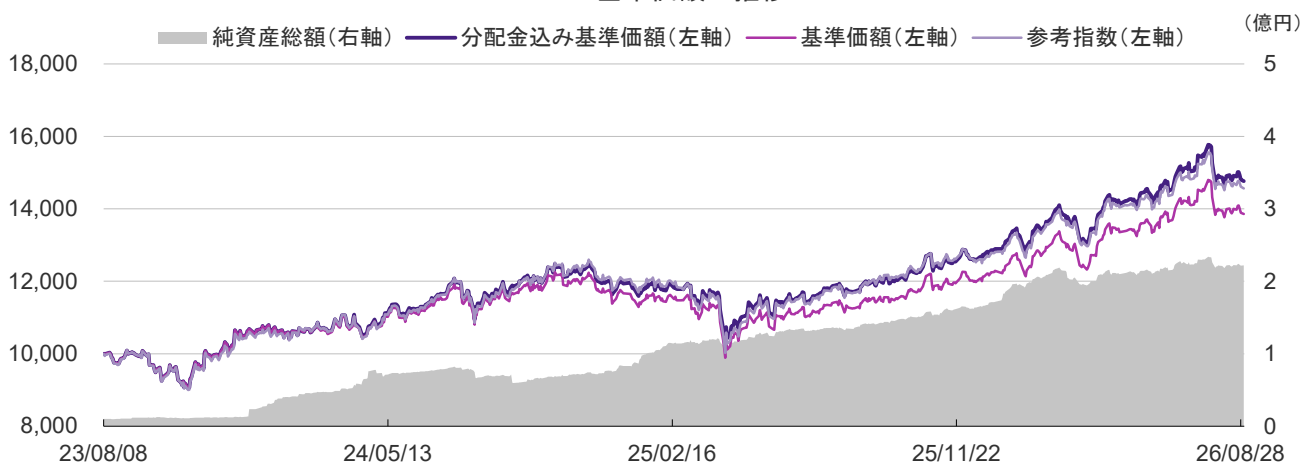
※当レポートでは基準価額および分配金を1万円当たりで表示しています。

※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

運用実績

基準価額の推移



※分配金込み基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意下さい。※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。※基準価額および参考指数は、設定日の前営業日を10,000として指数化しています。※参考指数は、「S&P先進国REIT指数(税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース)」です。参考指数は、ベンチマークではありません。※当参考指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はS&P社に帰属します。

基準価額の騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年
当ファンド	-3.24%	1.98%	5.71%	23.73%
参考指数	-3.52%	1.83%	5.16%	21.71%

	3年	5年	10年	設定来
当ファンド	46.37%	—	—	47.67%
参考指数	44.23%	—	—	45.63%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意下さい。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

分配金実績(税引前)

設定来合計	直近12期	24・9・5	24・11・5	25・1・6
750円	600円	50円	50円	50円
25・3・5	25・5・7	25・7・7	25・9・5	25・11・5
50円	50円	50円	50円	50円
26・1・5	26・3・5	26・5・7	26・7・6	
50円	50円	50円	50円	

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

資産構成比

不動産投信	96.6%
現金その他	3.4%

※マザーファンドの投資状況を反映した実質の投資比率です。

※為替ヘッジ率:原則として為替ヘッジは行ないません。

基準価額騰落の要因分解(月次)

前月末基準価額		14,322円		
当月お支払いした分配金		0円		
		計	キャピタル	インカム
要因	アメリカ	-247円	-265円	19円
	カナダ	-41円	-42円	1円
	オーストラリア	-30円	-32円	2円
	欧州	-33円	-33円	0円
	イギリス	-37円	-37円	0円
	日本	-9円	-10円	0円
	その他	-12円	-14円	3円
	合計	-410円	-434円	25円
	米ドル		-47円	
	為替	加ドル		2円
	豪ドル		8円	
	ユーロ		1円	
	ポンド		1円	
	その他		0円	
	合計		-34円	
	信託報酬その他		-20円	
当月末基準価額		13,858円		

※上記の要因分解は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様にご理解を高めいただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

データは2026年8月31日現在

ポートフォリオの内容

※マザーファンドの状況です。

※「不動産投信 国別上位投資比率」「不動産投信 通貨別上位投資比率」は、組入不動産投信時価総額に対する比率です。

※「不動産投信 セクター別構成比」「不動産投信 組入上位10銘柄」は、純資産総額に対する比率です。

不動産投信 国別上位投資比率

国名	比率
1 アメリカ	79.3%
2 イギリス	5.7%
3 カナダ	4.1%
4 オーストラリア	4.0%
5 日本	2.2%
6 ベルギー	1.7%
7 シンガポール	1.1%
8 フランス	1.0%
9 スペイン	0.9%
10	

不動産投信 通貨別上位投資比率

通貨名	比率
1 アメリカドル	79.3%
2 イギリスポンド	5.7%
3 カナダドル	4.1%
4 オーストラリアドル	4.0%
5 ユーロ	3.6%
6 日本円	2.2%
7 シンガポールドル	1.1%
8	
9	
10	

不動産投信 セクター別構成比

セクター名	比率	サブセクター名	比率
分散型	5.0%	分散型	5.0%
産業施設(工場等)	17.4%	産業施設(工場等)	17.4%
ホテル&リゾート	1.3%	ホテル&リゾート	1.3%
オフィス(ビル等)	4.2%	オフィス(ビル等)	4.2%
ヘルスケア	16.0%	ヘルスケア	16.0%
住宅(マンション等)	10.3%	集合住宅	5.2%
		一戸建て住宅	5.1%
小売(商業施設等)	12.5%	小売(商業施設等)	12.5%
		トランクルーム	7.4%
		電波塔	1.7%
		データセンター	9.4%
特化型	26.5%	その他の専門不動産	8.0%

組入不動産投信の予想分配金利回り(年率換算)

ファンド全体	4.02%
地域別	
アメリカ	3.78%
カナダ	4.10%
オーストラリア	4.17%
欧州	6.30%
イギリス	5.60%
その他	5.51%

※分散型とは、複数のセクターの物件を併せ持つ不動産投信のことです。

※予想分配金利回りは、当社が信頼できると判断したデータに基づき、月末時点での各組入不動産投信の予想分配金利回りを、マザーファンドの純資産総額、または地域別の純資産額に対する各組入不動産投信のウェイトで加重平均した概算値です。信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)等は考慮されておらず、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものでも、将来得られる期待利回りを示すものでもありません。

不動産投信 組入上位10銘柄(銘柄数 52銘柄)

銘柄名	国	セクター	比率
1 WELLTOWER INC ウェルタワー	アメリカ	ヘルスケア	9.82%
2 EQUINIX INC エクイニクス	アメリカ	特化型	9.38%
3 PROLOGIS INC プロロジス	アメリカ	産業施設(工場等)	7.37%
4 VIVMARK RESIDENTIAL ヴィヴマーク・レジデンシャル	アメリカ	その他	4.48%
5 SIMON PROPERTY GROUP INC サイモン・プロパティーズ・グループ	アメリカ	小売(商業施設等)	4.28%
6 PUBLIC STORAGE パブリック・ストレージ	アメリカ	特化型	4.23%
7 AMERICAN HOMES 4 RENT- A アメリカン・ホームズ4レント	アメリカ	住宅(マンション等)	2.78%
8 SABRA HEALTH CARE REIT INC サーブラ・ヘルスケア・リート	アメリカ	ヘルスケア	2.55%
9 GAMING AND LEISURE PROPERTIES ゲーミング・アンド・レジャー・プロパティーズ	アメリカ	特化型	2.54%
10 SUN COMMUNITIES INC サン・コミュニティーズ	アメリカ	住宅(マンション等)	2.37%

※当該銘柄の売買を推奨するものではありません。

※銘柄名はアモーヴァ・アセットマネジメントが信頼できる情報を基に和訳したものであり、正式名称と異なる場合があります。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。

したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様にご理解を高めいただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

データは2026年8月31日現在

運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎市場環境

グローバルREIT市場は8月に反落しました。投資家が高金利、米国とイランの紛争の継続、米連邦準備制度理事会（FRB）のよりタカ派的な姿勢の可能性、そしてより前向きなAI（人工知能）センチメントなどを消化する中での調整となりました。AI関連の支出と収益化を巡る懸念の緩和がテクノロジーおよびAI関連銘柄への回帰を支え、この期間に見られた市場の裾野拡大の一部が反転しました。名目金利は期間を通じて上昇しました。底堅い経済成長、紛争長期化に伴う新たなインフレ懸念、財政赤字懸念、そしてジャクソンホール会議後にFRBがよりタカ派的な姿勢を示したことなどが組み合わさり、金利上昇を引き起こしました。

セクター別パフォーマンスは、堅調な第2四半期決算および業績報告期間の終了にもかかわらず、今月は広範にマイナスとなりました。特化型セクター（セルタワー、データセンター）および冷凍冷蔵倉庫セクターのみがプラスのリターンを記録し、一部の消費者関連または景気敏感セクターは出遅れました。地域別では、英国REITが今月最も堅調なパフォーマーとなり、最近のアウトパフォーマンスに更に上乗せしました。一方、豪州および大陸欧州REITは低調でした。特化型セクター（セルタワー）は、大幅なアウトパフォーマーとなりました。ディスプレイミディエーション（仲介排除）を巡る懸念が緩和し、パフォーマンスの回復を支えました。特化型セクター（データセンター）は、堅調な第2四半期決算と8月の大半においてテクノロジー／AIを巡るセンチメントが改善したことが支援材料となりました。同セクターは、AI関連開発に伴う電力および水の需要を巡り、政治的な監視の高まりに直面しています。冷凍冷蔵倉庫セクターも上昇しました。堅調な決算内容、稼働率の向上、ファンダメンタルズの安定化の可能性などが背景となり、業績見通しが上方修正されました。住宅セクターおよびヘルスケアセクターの下落はより限定的となり、いずれもグローバルREIT市場全体をアウトパフォームしました。特化型セクター（個人向け倉庫）およびトリプルネットリースセクターは金利上昇などが下押し要因となって下落し、グローバルREIT市場全体をアンダーパフォームしました。小売セクター（ショッピングセンター、ショッピングモール）、ホテルセクター、広告看板セクターなど相対的に景気感応度の高いセクターは、概ね好調な決算にもかかわらず今月最も弱いパフォーマーとなり、年初来の力強い上昇の一部を返上しました。

米国REIT市場は下落しましたが、グローバルREIT市場全体と概ね同水準のパフォーマンスとなりました（以下、地域別パフォーマンスは円ベース）。堅調な第2四

半期決算および底堅いファンダメンタルズと、AIおよびテクノロジー銘柄へのローテーション、ジャクソンホール会議後のやや引き締めの金利見通しとのバランスをとった形となりました。

カナダREIT市場は下落し、グローバルREIT市場全体を下回りました。カナダが報復関税を発動し、米国との通商摩擦が激化したことに加え、H&R REITの非公開化が市場で否定的に受け止められたことが影響しました。

大陸欧州REIT市場は下落し、グローバルREIT市場全体を大きく下回りました。

英国REIT市場は概ね横ばいとなり、グローバルREIT市場全体を上回りました。引き続き政治的圧力の緩和と、PrologisによるSegro買収が浮き彫りにしたバリュエーション水準の魅力の恩恵を受けました。

豪州REIT市場は下落し、グローバルREIT市場全体を大幅に下回りました。逼迫した労働市場と高止まりするインフレを巡る懸念を背景に、よりタカ派的な金融政策の見通しが強まり、月初の好調な推移を返上する形となりました。同地域の軟調さは広範なセクターにわたって見られました。

J-REIT市場は下落し、グローバルREIT市場全体をわずかに下回りました。インフレの加速を経て日銀による利上げ期待が高まる中、低成長・低インフレ環境から持続的成長に向けたより広範なシフトが意識され、軟調な推移となりました。

香港REIT市場およびシンガポールREIT市場は下落しましたが、グローバルREIT市場全体を上回りました。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様にご理解を高めいただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

データは2026年8月31日現在

運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎運用概況

当ファンドでは、投資対象国とセクターの分散投資に努めポートフォリオのリスクをコントロールしつつ、より高いトータルリターンを目指しています。

地域配分については大きな変更はありませんでした。米国の強気幅を小幅に拡大しました。英国およびカナダについては持ち分を小幅に縮小しましたが、強気配分を維持しました。大陸欧州の中立、豪州、シンガポール、日本の弱気配分、香港のより小幅な弱気配分を維持しました。

地域配分による寄与は、概ねフラットとなりました。

◎今後の見通し

AI関連の支出と収益化を巡る懸念の緩和を背景としたテクノロジー関連の株価持ち直しや、長期金利の上昇が、中期から長期の見通しを大きく変えるものとは考えていません。需要と供給の両面における不動産ファンダメンタルズの健全な見通し、株式市場全体と比較した際の魅力的なバリュエーション水準、投資資金の投入に対する信頼感の高まり、そして市場の裾野拡大の継続の可能性を背景に、グローバルREIT市場全体に対してポジティブな見方を維持しています。

金利は最近数カ月で上昇しました。投資家がインフレ懸念とFRB新議長による引き締めの金融政策の可能性を織り込む中、金利は上昇を継続しました。ただし、クレジットスプレッドとインフレ期待は十分に安定しており、景気サイクルに対する信頼感の継続と長期的なインフレ懸念の限定性を示しています。

成長の観点から見ると、不動産ファンダメンタルズの見通しは堅調を維持しており、堅調な第2四半期決算が示す通り今後も持続的な内部成長が見込まれます。供給水準が低い、または減少傾向にあることは、多くのセクターの好調な推移を下支えすると期待されます。外部成長の見通しは資本コストの動向の改善に伴い広がりを見せていますが、依然として財務健全性の高い企業により多くの機会が見られます。

バリュエーションの観点から見ると、特に8月の株価下落と株式市場全体に対するアンダーパフォーマンスを経て、REITは広範な市場環境において前向きなバリュエーションシグナルを示しています。グローバルREITは平均すると純資産価値(NAV)に対して小幅なプレミアム水準で取引されていますが、ヘルスケアなど平均を押し上げているセクターを除くと、引き続き多くの銘柄で大幅な割安感が見られます。グローバルREIT市場は株式市場全体の割高なバリュエーションと比較して引き続き大幅に割安な水準を維持しており、この状況は8月のローテーションによって弱まるのではなく、むしろ強化さ

れました。

まとめると、堅調なマクロ経済環境、底堅いファンダメンタルズの見通し、そしてここ数カ月の市場ローテーションの再開を支えるバリュエーション水準を踏まえ、REITに対する見通しは引き続き前向きなものとなっています。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様にご理解を高めいただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

データは2026年8月31日現在

ご参考情報

※「組入上位10銘柄の概要」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。
※記載の見解等は、作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

組入上位10銘柄の概要

1 WELLTOWER INC / ウェルタワー

米国のヘルスケアセクターREIT。北米および英国で高齢者向け住宅、ポストアキュート医療施設や外来患者向け医療施設等のヘルスケア関連施設を保有。革新的なケア提供モデルを拡大し、人々のウェルネスと総合的な医療体験向上に必要な不動産インフラへの投資を行う。S&P 500指数の構成銘柄に採用される。

2 EQUINIX INC / エクイニクス

米国の特化型セクターREIT。グローバルにデータセンターを保有。顧客は世界のトップ企業、コンテンツプロバイダや通信事業者等。キャリアニュートラルを謳い顧客間相互接続を提供。新規開発の他、Verizon、Telecity、Infomart DallasやMetronode等同業の企業買収や資産取得を通じ規模拡大を図る。

3 PROLOGIS INC / プロロジス

米国の産業施設セクターREIT。競合参入障壁が高く高成長が見込まれる物流セクターにおいて世界最大規模の物流施設ネットワークをグローバルに展開。各国の主要商業地域に有する先進的物流施設を通じ、BtoBやECを中心にテナントの幅広い需要に応える。優秀な経営陣、豊富な開発実績、盤石なバランスシートを持つ。

4 VIVMARK RESIDENTIAL / ヴィヴマーク・レジデンシャル

米国の住宅セクターREIT。国内の主要都市圏で事業を展開。高品質な集合賃貸住宅を保有し、開発も積極的に行う。S&P 500指数の構成銘柄に採用される。

5 SIMON PROPERTY GROUP INC / サイモン・プロパティー・グループ

米国の小売セクターREIT。北米、欧州、アジア太平洋地域に郊外型ショッピングモール、プレミアムアウトレットモールの他、ダイニングやエンターテインメント等の複合施設を保有し、物件における多用途化や大型化を推し進める。S&P 100指数の構成銘柄に採用される。

6 PUBLIC STORAGE / パブリック・ストレージ

米国の特化型セクターREIT。米国内に広く個人向け倉庫を保有。また、欧州各国に個人向け倉庫をShurgardブランドで展開するShurgard Self Storageの株式を一部保有する。

7 AMERICAN HOMES 4 RENT- A / アメリカン・ホームズ4レント

米国の住宅セクターREIT。メリーランド州に本社を構える。米国内南東部、中西部、南西部、山岳西部地域に戸建て賃貸住宅を保有。

8 SABRA HEALTH CARE REIT INC / サブラ・ヘルスケア・リート

米国のヘルスケアセクターREIT。米国およびカナダに、介護施設／移行期ケア施設、高齢者向け住宅コミュニティ、行動医療施設、専門病院などを保有。

9 GAMING AND LEISURE PROPERTIES / ゲーミング・アンド・レジャー・プロパティーズ

米国の特化型セクターREIT。ゲーミング施設および関連施設を保有し、トリプルネットリース契約に基づき運営。ポートフォリオは国内に十分な地理的分散が図られる。

10 SUN COMMUNITIES INC / サン・コミュニティーズ

米国の住宅セクターREIT。米国、カナダおよび英国でMH（マニファクチャードホーム）コミュニティやRV（キャンピングカー）コミュニティを保有。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。

したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様にご理解を高めいただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

データは2026年8月31日現在

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／不動産投信
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	無期限(2023年8月9日設定)
決算日	毎年1月、3月、5月、7月、9月、11月の各5日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行休業日 ・オーストラリア証券取引所の休業日
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度(NISA)の適用対象となります。 ※当ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜申込時、換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料 購入時の基準価額に対し3.3%(税抜3%)以内
※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

換金手数料 ありません。

信託財産留保額 ありません。

＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

運用管理費用 (信託報酬) ファンドの日々の純資産総額に対し年率1.65%(税抜1.5%)

その他の費用・手数料 目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用、運用において利用する指数の標章使用料などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。
組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。
※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。
したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様にご理解を高めいただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

データは2026年8月31日現在

委託会社、その他関係法人

委託会社	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社
投資顧問会社	ラサール インベストメント マネージメント セキュリティーズ エルエルシー
受託会社	みずほ信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。
	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社
	〔ホームページ〕 www.amova-am.com
	〔コールセンター〕0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

お申込みに際しての留意事項

○リスク情報

投資者の皆様は、投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様にご帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に不動産投信を実質的な投資対象としますので、不動産投信の価格の下落や、不動産投信の発行体の財務状況や業績の悪化、不動産の市況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】

・不動産投信は、不動産や不動産証券化商品に投資して得られる収入や売却益などを収益源としており、不動産を取り巻く環境や規制、賃料水準、稼働率、不動産市況や長短の金利動向、マクロ経済の変化など様々な要因により価格が変動します。また、不動産の老朽化や立地条件の変化、火災、自然災害などに伴う不動産の滅失・毀損などにより、その価格に影響を受ける可能性もあります。不動産投信の財務状況、業績や市況環境が悪化する場合、不動産投信の分配金や価格は下がり、ファンドに損失が生じるリスクがあります。

【流動性リスク】

・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。

【信用リスク】

・不動産投信が支払不能や債務超過の状態になった場合、またはそうなることが予想される場合、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。

【為替変動リスク】

・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様にご理解を高めいただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

データは2026年8月31日現在

その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様へ「ラサール・グローバルREITファンド（奇数月分配型）」へのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認ください。のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は **アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社**
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様へ当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

データは2026年8月31日現在

販売会社

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

※下記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。 ※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○		
株式会社SBI証券 ※右の他に、以下にも加入 一般社団法人日本STO協会 一般社団法人日本暗号資産等取引業協会 日本商品先物取引協会	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券) (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○
大和証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○
株式会社トマト銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第11号	○		
浜銀T.T証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○
三菱UFJ e スマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。

したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様にご理解を高めいただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

データは2026年8月31日現在

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

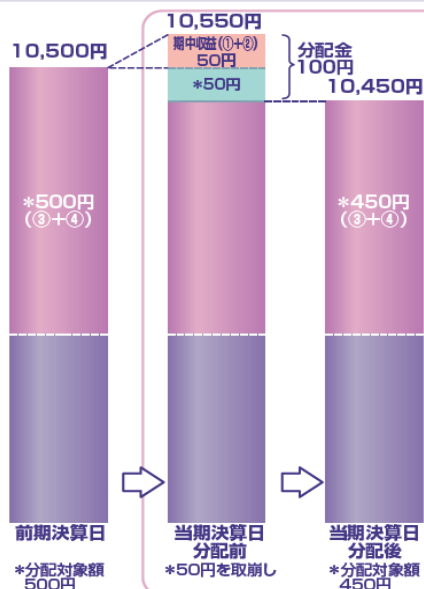
投資信託で分配金が支払われるイメージ



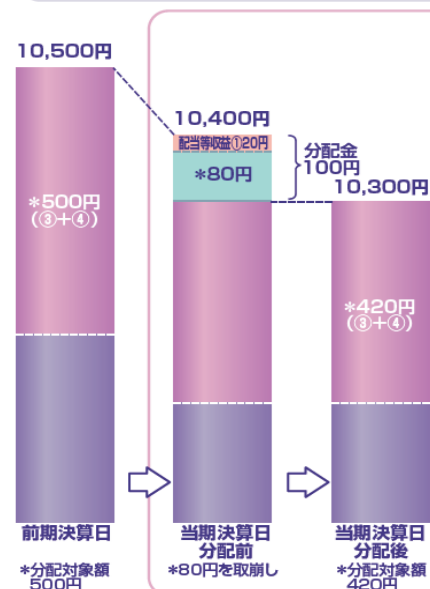
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



前期決算から基準価額が下落した場合

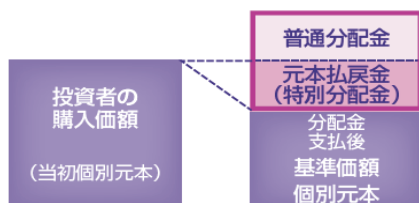


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

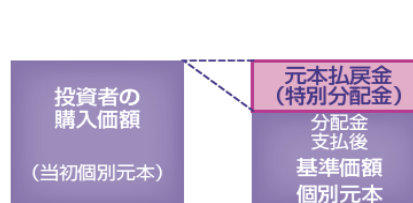
※ 上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※ 元本払戻金（特別分配金）は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金（特別分配金）部分は非課税扱いとなります。

- ・ 普通分配金：個別元本（投資者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。
- ・ 元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、（特別分配金）元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。

したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。